

「第3回ビクター高柳会」 平田雅彦様の締めのご挨拶

今日は和田さん、町田さん、いいお話をしていただきました。

60年前、30年前の話をよくここまでまとめて話してくださった。感心してます。

お話を聞いてて、高柳先生から「私の履歴書」を引き出したことは日経並びに和田さんの大きな功績ですね。あれが土台になって高柳先生の話が世の中に広がったわけですね。いま考えてみると、あの「私の履歴書」は宝物ですよ、人生訓の宝物ですね。

私は日本工業倶楽部の会員なんですね。2～3年前に高柳先生のことを紹介しようと思って、「人工天才になれ！」という表題で先

生の私の履歴書を中心にしたものを書いたわけです。そうしたら何人もの人から、「面白かった」「うちの教育で使いたい」と、ビックリしましたね。僕がちょっと紹介しただけで、財界の方々がワーとね。宝物ですよ！

我々はその宝物を身につけることができたわけですね、実際。これはやっぱり改めて残していかなければならないし、我々も残る人生に向かってこの宝物の中から大切なものを引き出していかなければならない。それを痛感した次第です。先生を知っている我々がもう一度集まって、先生のこの精神をどうやって引き継いでいくかをさらに議論し合って、引き継いでいきたいと思います。



以 上